

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/
The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

January 24-26, 2022

as virtual conference online

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/
The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

会議報告

金沢大 田中康規

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/
The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

**「イベントペイ」を利用した参加費のカード支払では多大なご迷惑をお掛けしております。
カード明細書のご確認を何卒よろしくお願い致します。**

イベントペイ

<https://www.metaps-payment.com/company/20220228.html>

《ご利用者様向け窓口》

- ・ 受付時間：9:00 ～ 21:00（土日祝日も受付）
- ・ 電話番号：0120-816620（フリーダイヤル）

名城大 内田儀一郎

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/
The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

会議参加者の統計

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/

The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

全87講演

名大(11講演)、名城大(9講演)、北大(6講演)、九大(6講演)、岩手大(5講演)
熊本大(4講演)、阪大(4講演)、東北大(4講演)、東工大(4講演)、東大(3講演)、佐世保高専(2講演)
大分大(2講演)、静岡大(2講演)、大阪市立大(2講演)、産総研(2講演)、豊橋技術大(2講演)、防衛大(2講演)
大阪府立大、西日本工業大学、愛媛大、長崎大、東京都立大、金沢大、鶴岡高専、高知工科大、神戸高専、兵庫
県立大、滋賀県立大、岐阜大、千葉工大、岡山理科大、中部大、パナソニック、東京エレクトロン 全34所属

参加人数：126人

(一般参加者:117名、招待講演者：9名)

多数のご参加、御礼申し上げます。

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/

The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

プレナリー招待講演 9:20~

- 24日(月) 榊田 創 先生 産業技術総合研究所 **51名のご聴講**
「低侵襲プラズマ止血機器の基礎・開発と国際標準の推進」
- 25日(火) 平松 美根男 先生 名城大学 **50名のご聴講**
「カーボンナノウォールの合成と新規応用」
- 26日(水) 浜口 智志 先生 大阪大学 **55名のご聴講**
プラズマ材料科学賞受賞講演(基礎部門賞) 9時から各種表彰式
「サブナノメータノード半導体デバイス製造をめざしたプラズマプロセスの理解」

トピックに対する投稿件数

プレナリー招待講演 = 3件

招待講演 = 6件

口頭発表1(15分) = 45件

口頭発表2(7分) = 33件

全87講演

各講演

平均30-40名程度のご聴講

件数	トピック
2	P1. (重点テーマ)持続可能な開発目標(SDGS)に向けた新規プラズマ材料プロセス
14	P2. (重点テーマ)プラズマの医療・バイオ分野・農業応用
0	1) プロセッシングプラズマにおける素過程・モデリング
16	2) プロセッシングプラズマの診断・計測・モニタリング
3	3) 低ガス圧プロセッシングプラズマの生成および応用
10	4) 大気圧プラズマ・熱プラズマの生成および応用
11	5) 液相・気液界面プラズマの生成および応用
19	6) プラズマによる薄膜・表面プロセス (エッチング, 薄膜形成, 表面改質)
5	7) エレクトロニクス・ナノテクノロジー分野へのプラズマ応用
4	8) 環境・宇宙・エネルギー分野へのプラズマ応用
0	9) プラズマプロセッシングにおけるIOT/AI活用
2	10) 上記以外のプラズマ関連研究

5トピックで
70講演

プラズマエレクトロニクス講演奨励賞

応物PE分科会では、優れた一般講演論文を発表した若手研究者の功績を称えることを目的として“プラズマエレクトロニクス講演奨励賞”を設けています。以下の条件を満たす人が対象者となります。

- ・ 2022年4月1日時点で満35歳以下の者。
- ・ 論文の筆頭著者であること。
- ・ 登録された発表者であり、且つ、実際に発表した者。
- ・ 講演申し込み時に奨励賞を申請した者。但し、一人一件に限る。
- ・ 表彰時に応用物理学会会員またはPE分科会会員であること。

< 審査 >

項目：

(A)研究の独創性・発展性、(B)成果の重要性・インパクト、
(C) Proceedingの構成や分かり易さ、(D)発表のわかりやすさ・質疑
などを点数化

審査員：18名の選考委員が慎重に審査

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/
The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

第2回プラズマエレクトロニクス講演奨励賞

SO25-A-01 岩本 拓仁 (東北大学大学院工学研究科)

「プラズマ合成 N_2O_5 によるカルシウム系植物全身防御応答活性化」

共著者： 佐々木 渉太(東北大学大学院), 高島 圭介(東北大学大学院),
東谷 篤志(東北大学大学院), 豊田 正嗣(埼玉大学), 金子 俊郎(東北大学大学院)

SO25-B-03 羽生 侑真 (名城大学大学院 理工学研究科)

「全固体Liイオン電池のためのスパッタリングLiPON薄膜のイオン導電率制御」

共著者： 林 純希(名城大学大学院), 永井 健太(名城大学大学院), 木賀 海青(名城大学大学院),
山田 輝也(名城大学大学院), 内田 儀一郎(名城大学大学院)

SPP-39/SPSM34

The 39-th Symposium on Plasma Processing/
The 34-th Symposium on Plasma Science for Materials

実行委員長（ご敬称略）
内田儀一郎（名城大学）

プログラム委員会（ご敬称略）

栗原一彰（キオクシア）、中村圭二（中部大）、市來龍大（大分大）
明石治朗（防衛大）、大久保雄司（大阪大）、熊谷慎也（名城大）、石川健治（名古屋大）
古免久弥（大阪大）、渡辺隆行（九州大）、伊藤昌文（名城大）、大熊崇文（パナソニック）
竹内希（東京工業大）、小野亮（東京大）、神原淳（東京大）、平岡尊宏（ウシオ電機）
王斗艶（熊本大）、大矢根綾子（産業技術総合研究所）、田中康規（金沢大）

事務局, 運営：名城大学

太田貴之、竹田圭吾、内田儀一郎、熊谷慎也、伊藤昌文、平松美根男、村瀬
名城大学の学生6名（山田、西田、小林、増田、安東、木賀）

